

令和 6年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4036

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P67	畑作物生産基盤強化事業		一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費	
事業期間	令和 6年度	根拠法令	麦・大豆生産技術向上事業補助金交付等要綱 畑地化促進事業補助金交付等要綱		針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2, 12 SDGsターゲット 2-4, 12-3
1 事業の概要	小麦等は、堅調な国産需要がある一方、国産小麦等は量・品質・価格の安定供給が実現できず、輸入品が大部分を占めている。 そこで、麦・大豆等の畑作物における省力・低コストな先進的営農技術、機械・施設の導入及び畑地化に伴う経費の支援をすることにより、国内需要の高まりに応じた安定生産及び畑作物の本作化を推進する。		ア 麦・大豆生産技術向上事業 37,400千円 イ 畑地化促進事業 231,000千円		5 事業説明 (1)事業内容 ア 麦・大豆生産技術向上事業 37,400千円 生産性の向上の推進や環境に配慮した営農に向けて 技術の新規導入を図る先進的な小麦等の産地に対し、ソフト・ハード両面から支援する。 イ 畑地化促進事業 231,000千円 畑作物の産地づくりに必要なソフト経費及び水田を畑地化することに伴い発生する、土地改良区の地区除外決済金等を支援する。 (2)事業計画 ア 令和6年度 麦・大豆生産技術向上事業 2件 イ 令和6年度 畑地化促進事業 6地区 (3)事業効果 県産小麦等における営農技術や機械等の導入及び畑地化に係る経費を支援することにより、畑作物産地の生産基盤の強化及び畑作物の本作化が図られることで、県民に対し小麦等を安定的に供給する体制が構築できる。 【活動指標(アウトプット)】 ア 麦・大豆生産技術向上事業：新たな営農技術の導入経費支援 (2地区)、機械・施設の導入費支援 (2地区) イ 畑地化促進事業：地域における畑地化の合意形成 (6協議会)、土地改良区決済金等の支援 (6協議会) 【成果指標(アウトカム)】 ア 麦・大豆生産技術向上事業：営農技術延べ面積 30ha、機械導入による受益平均面積 15ha以上／1地区 イ 畑地化促進事業：畑地化した農地での麦、大豆、高収益作物等の畑作物の定着 (4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携 地域農業再生協議会等の農業団体との連携			
2 事業主体及び負担区分	ア 麦・大豆生産技術向上事業 生産性向上、営農技術(国10/10、県0、市0)事業者0 機械・施設の導入 (国1/2、県0、市0)事業者1/2 イ 畑地化促進事業 (国10/10、県0、市0)事業者0							
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.6人=5,700千円							
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	268,400	268,400					0	173,301
前年額	95,099	95,099					0	

事業内訳書

事業名	畑作物生産基盤強化事業			
単位事業名	麦・大豆生産技術向上事業	予算額	37,400千円	

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 農業費補助金	37,400	△57,699	国産農産物生産基盤強化等対策事業費補助金 補助率 定額、1/2
合計	37,400	△57,699	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	37,400	△57,699	事業者への補助金 37,400千円
合計	37,400	△57,699	

単位事業名	畑地化促進事業			
		予算額	231,000千円	

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 農業費補助金	231,000	231,000	国産農産物生産基盤強化等対策事業費補助金 補助率 定額
合計	231,000	231,000	

単位事業名	畑地化促進事業	予算額	231,000千円
-------	---------	-----	-----------

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	231,000	231,000	産地づくりに向けた体制構築等支援 6,000千円 土地改良区決済金等支援 225,000千円
合計	231,000	231,000	